

認知症作業療法 活動計画 (概要)

大分県作業療法協会では、認知症アップデート研修を中心に認知症支援にかかる人材育成に取り組んでいる。例年であれば研修会の内容を3段階に分け、最終的にカフェの運営も行っている。昨年度は新型コロナウイルスの影響を受け、2段階のWEB研修を実施した。今年度もWEB研修が中心となっているが、事例検討を積極的に行う予定である。また認知症予防をテーマにしたリーフレットを作成し、今年度中の発行を予定している。

認知症アップデート研修 I

2020年10月9日「作業療法士として押さえておきたい評価と介入のポイント」と題しWEB研修会を実施した。日本作業療法士協会作成「認知症作業療法評価の手引き」を用い、評価の標準化とその結果を支援に結び付けるため思考過程の整理を行った。30名が参加した。

今年度は6月27日に開催し、参加者23名であった。



認知症アップデート研修 II

2021年2月17日「評価結果と支援方法を結び付けよう」と題した研修会を行い、13名が参加した。事例を用いてグループワークを行い、評価と支援を結びつける思考過程の整理を行った。

今年度は10月に事例検討会を予定しており、研修 I の受講者のうち、3名が事例報告を予定している。



リーフレットの作成

サロンなどの集いの場で活用するためのリーフレットを作成中である。認知症予防をテーマにしており、講座などで配布し啓発活動を行っていきたいと考えている。



リーフレットイメージ

認知症支援に関する講師派遣

大分県社会福祉介護研修センターからの依頼で、令和2年度介護予防推進事業に係る「介護職員現任者研修」に、認知症作業療法推進委員会から講師を派遣した。今年度も派遣予定である。